第 8 章　今後の取組み

今後の取組みは、本計画は事業規模の大きさから長期的な期間を要する取り組みや今後の財政状況等により、その推進が影響を受ける場合もあることから令和 25 年度（概ね 20 年間）を目標として実施を予定する内容となっています。

また、団体等の意見からも老朽化した屋外スポーツ施設の再整備や施設の質、機能の向上、多目的利用の形成などが挙げられている事から、今後において屋外スポーツ施設の再整備を進める中で、市内の公園内等における既存の屋外スポーツ施設数については、現在の施設数を維持することを基本とし、集約化や新たな適地への移転等についても検討します。

更に、にぎわい創出の取組みについては、公共事業による整備、地域・団体との連携、市民ボランティアとの協働、広域的な連携促進の大きな枠組みの中で、行政をはじめ地域・団体・民間事業者と連携し、既存施設や既存事業を活用しながら事業の展開をします。

なお、本計画の推進にあたっては、今後の社会経済状況、少子高齢化、人口動向、市民や利用者のニーズの変化等を踏まえながら、事業ごとに検討していく必要性があると考えています。

以下、計画地における今後の取組みのイメージを示します。

STEP1

＜早期整備施設＞
○大瀬運動公園の整備（Sports 拠点）
○下河原運動広場の整備①（Activity 拠点）
　現在の下河原運動広場敷地内において多目的広場ゾーン等を整備する。
○サイクリング等の利用者に向けた休憩施設等の検討（Recreation 拠点）

＜にぎわい創出＞
○関係団体と連携した既存の観光事業の促進
○花壇管理等の市民ボランティアと協働による事業の促進
○中川新堤防を活用したサイクリングコース等の促進に向けた検討など

STEP2

＜市内の屋外スポーツ施設＞
○下河原運動広場の整備②（Activity 拠点）
　用地確保等が整った段階で、アーバンスポーツ等を整備する。
○大原公園（野球場、テニスコート）
○松之木公園（テニスコート）
　などの屋外施設を順次、改修等を行っていく。

＜にぎわい創出＞
○公共事業による施設整備（休憩場所、屋根付きベンチ等の整備）
○堤防の周遊性を活かした親子マラソン等の開催など
○民間活力の導入に向けた各種検討など